

若桜町 まちづくりアンケート調査結果【概要版】

このアンケート調査は、お住まいの地域の現状や今後のまちづくりについて町民の皆さまのお考えを伺い、若桜町のまちづくりの総合的な指針となる「**若桜町まちづくりマスタープラン**」の策定に役立てるために実施したものです。

全数調査

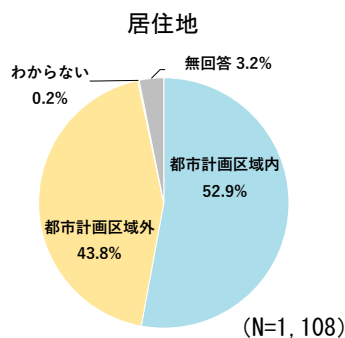
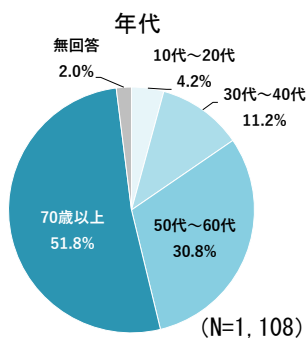
対象 若桜町にお住まいの18歳以上の方 **2,439**人（※令和7年10月時点）

期間 令和7年11月3日（月）～12月5日（金）

方法 郵送による配布・回収

回収結果 有効回収数：1,108票
有効回収率：**45.4%**

回答者の属性



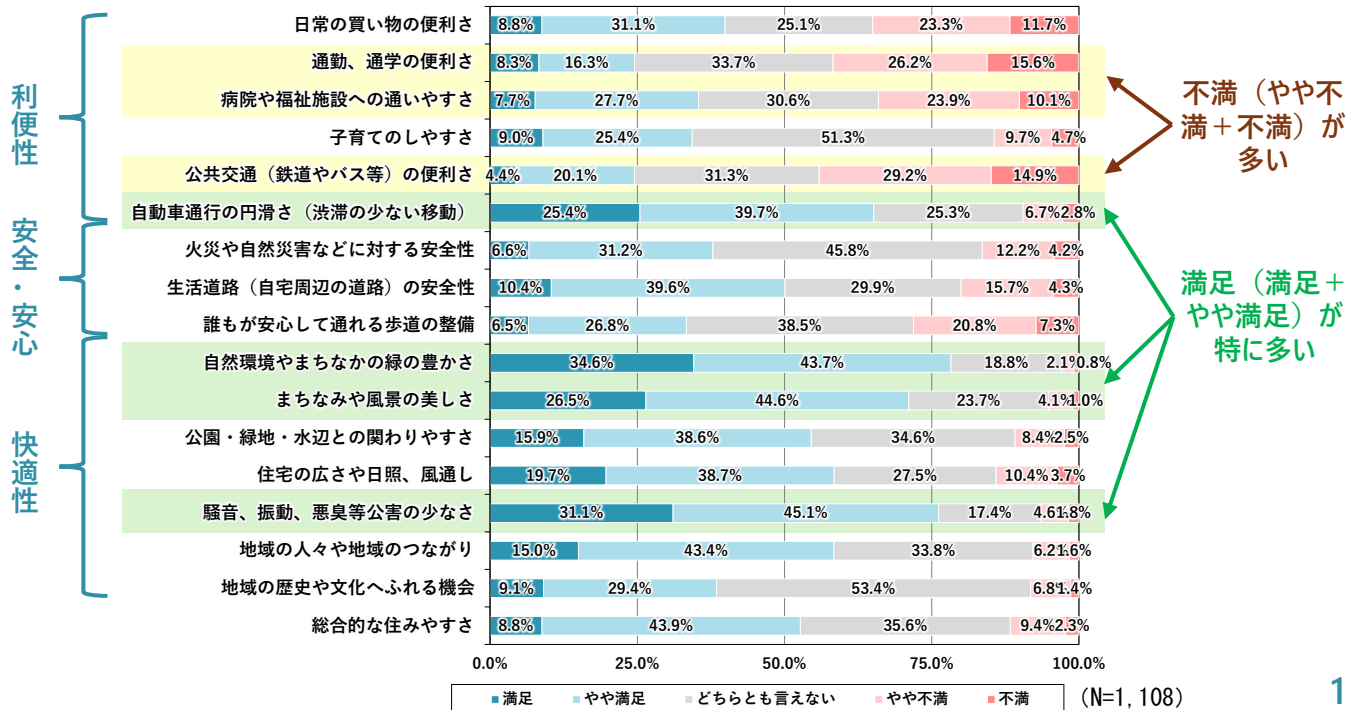
調査報告書では、「年代」・「居住地（若桜都市計画区域）」でクロス分析を実施しています。

若桜町での暮らしやすさの満足度

Q. 地域の暮らしやすさについて、それぞれの項目の現状の満足度（満足・やや満足・どちらとも言えない・やや不満・不満）を1つ選んで○を付けてください。

- ・「通勤、通学の便利さ」「公共交通の便利さ」等の『**利便性**』に関する項目の満足度が低い一方で、「自然環境やまちなかの緑の豊かさ」「公害の少なさ」「まちなみや風景の美しさ」等の『**快適性**』に関する項目の満足度は高くなっています。
- ・総合的な住みやすさでは、満足計（満足＋やや満足）が52.7%となり、半数以上が概ね満足と回答しています。

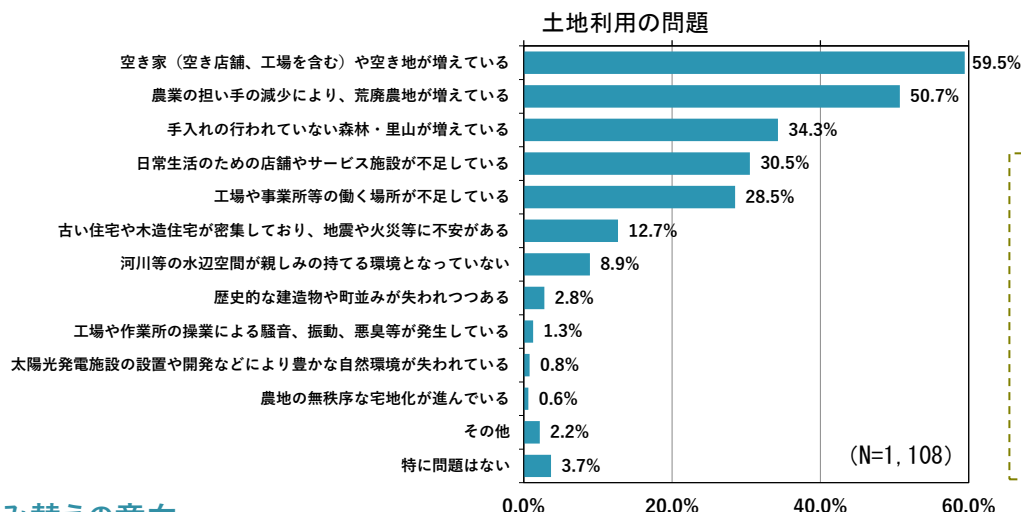
暮らしやすさの満足度（5段階評価）



土地利用の問題

Q. お住まいの周辺の土地利用について問題だと思われるものはありますか。（最大3つ選択）

- ・「空き家や空き地が増えている」が59.5%と最も多く、次いで「農業の担い手の減少により荒廃農地が増えている」が50.7%、「手入れが行われていない森林・里山が増えている」が34.3%と続きます。

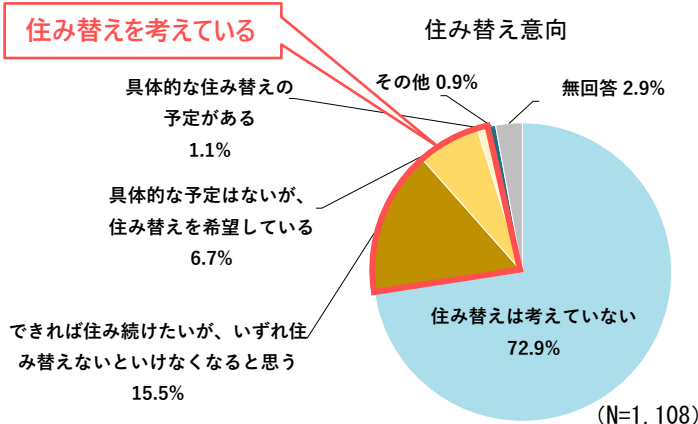


（年代別の傾向）
・10代～20代では、「日常生活のための店舗やサービス施設が不足している」が7割を超え、他の年代と比較して突出しています。

住み替えの意向

Q. 現在お住まいの場所からの住み替えを考えていますか。（1つ選択）

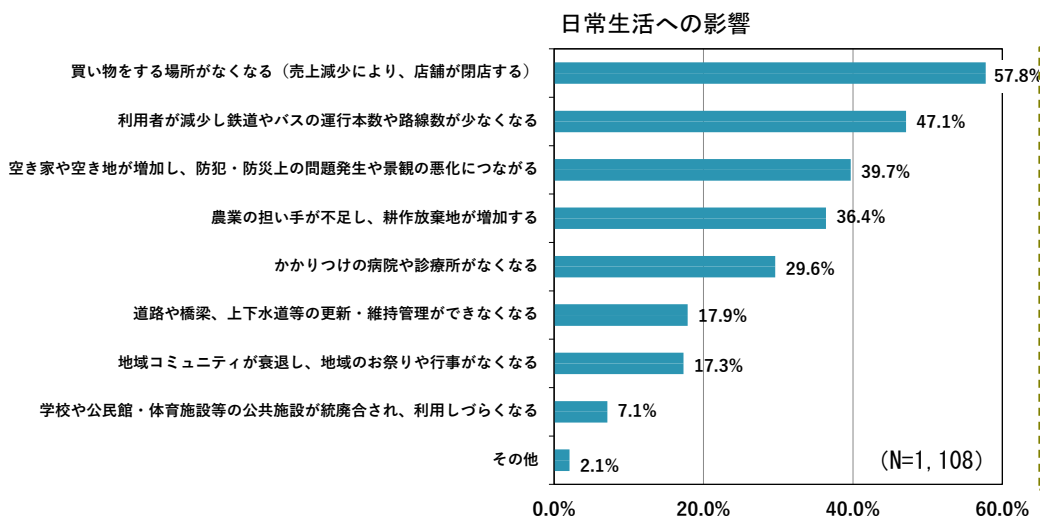
- ・「住み替えは考えていない」が72.9%、「住み替えを考えている」が23.3%となります。
- ・住み替え先の希望として、回答者の7割が鳥取市や八頭町郡家等の「若桜町外」と回答しています。
- ・住み替えの理由では、「老後の生活が不安」「買い物や通院等の日常生活が不便」「公共交通が不便」多くなっています。



人口減少や少子高齢化等により予想される日常生活への影響

Q. 人口減少や少子高齢化等の進行により予想される日常生活への影響のうち、普段の生活に関係すると思うものは何ですか。（最大3つ選択）

- ・「買い物をする場所がなくなる（売上減少により、店舗が閉店する）」が57.8%と最も多く、次いで「利用者が減少し鉄道やバスの運行本数や路線数が少なくなる」が47.1%、「空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題発生や景観の悪化につながる」が39.7%と続きます。



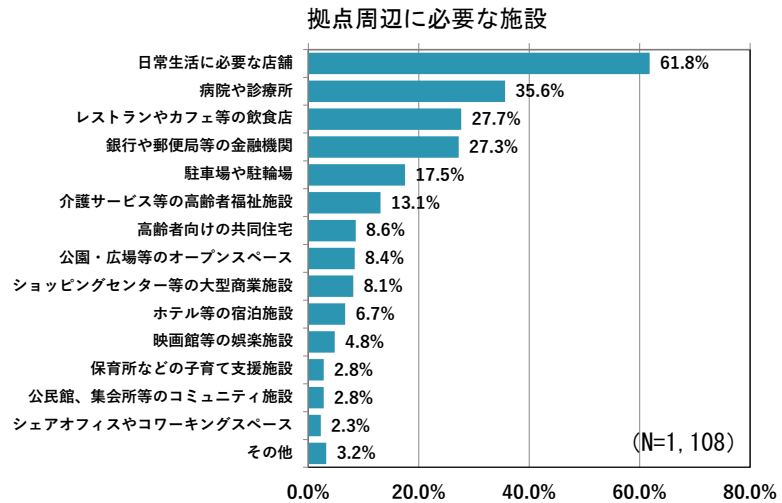
（年代別の傾向）
・10代～20代では、「買い物をする場所がなくなる」が突出しており、30代～40代では、「学校や公民館・体育施設等の公共施設が統廃合され、利用しづらくなる」が他の年代と比べて高くなっています。

生活サービス施設・都市機能

Q. 若桜駅周辺の拠点となる場所に必要だと思う施設は何ですか。（最大3つ選択）

・拠点となる場所に必要だと思う生活サービス施設では、「**日常生活に必要な店舗**」が61.8%と最も多く、次いで「**病院や診療所**」が35.6%、「**レストランやカフェ等の飲食店**」が27.7%となり

日常生活を送るうえで必要だと思う機能では、「**医療機能**」「**商業機能**」「**介護・福祉支援機能**」が上位となります。

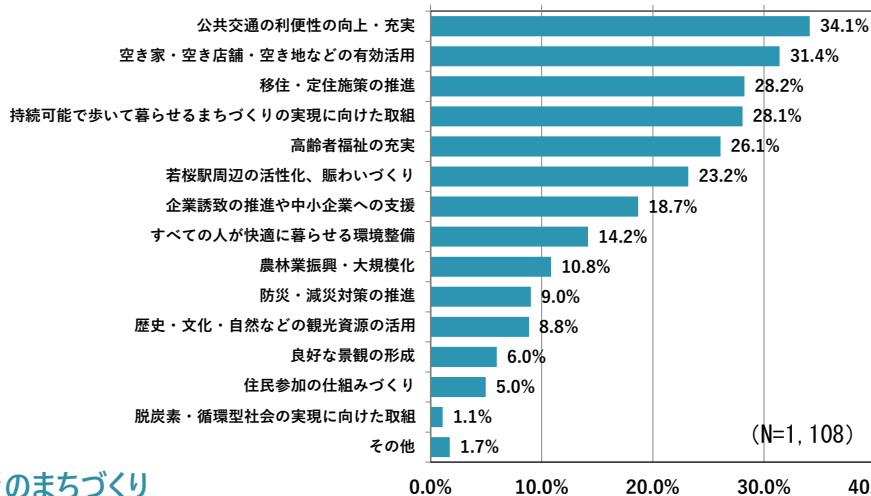


今後必要だと思うまちづくりの取組

Q. 若桜町では今後どのようなまちづくりの取組が必要だと思いますか。（最大3つ選択）

・「**公共交通の利便性の向上・充実**」が34.1%と最も多く、次いで「**空き家・空き店舗・空き地などの有効活用**」が31.4%、「**移住定住施策の推進**」28.2%、「**持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組**」が28.1%と続きます。

今後必要だと思うまちづくりの取組



（年代別の傾向）

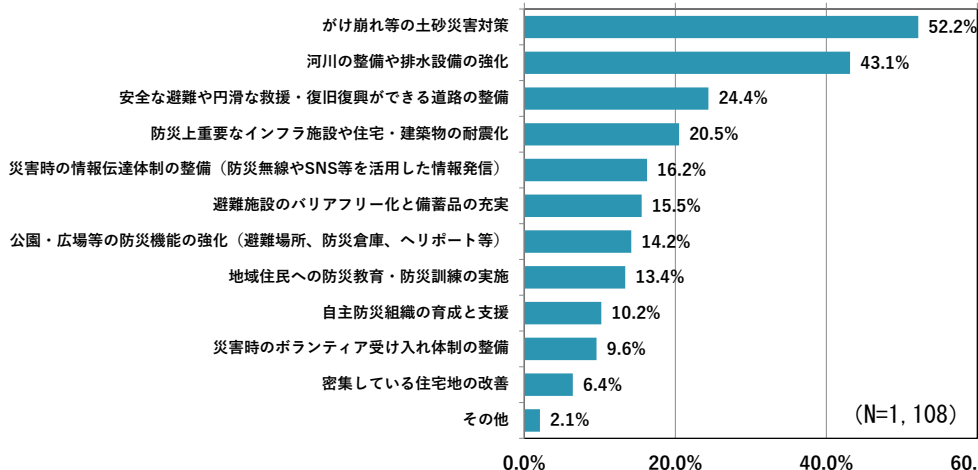
・10代～20代の若い世代では、「公共交通の利便性の向上・充実」「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」が4割以上を占めています。

防災・減災のまちづくり

Q. 災害に強いまちづくりを考えた場合、今後どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。（最大3つ選択）

・「**がけ崩れ等の土砂災害対策**」が52.2%と最も多く、次いで「**河川の整備や排水設備の強化**」が43.1%、「**安全な避難や円滑な救援・復旧復興ができる道路の整備**」が24.4%と続きます。

防災・減災のまちづくり



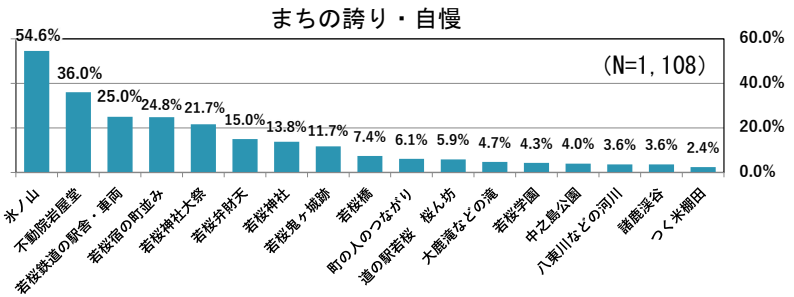
（居住地別の傾向）

・都市計画区域内では、地震や火災への対策が重視され、都市計画区域外では、がけ崩れ等の土砂災害対策が特に支持されています。

若桜町の誇り

Q. あなたが思う若桜町の自慢できるもの、誇りに思うものについて教えてください。（最大3つ選択）

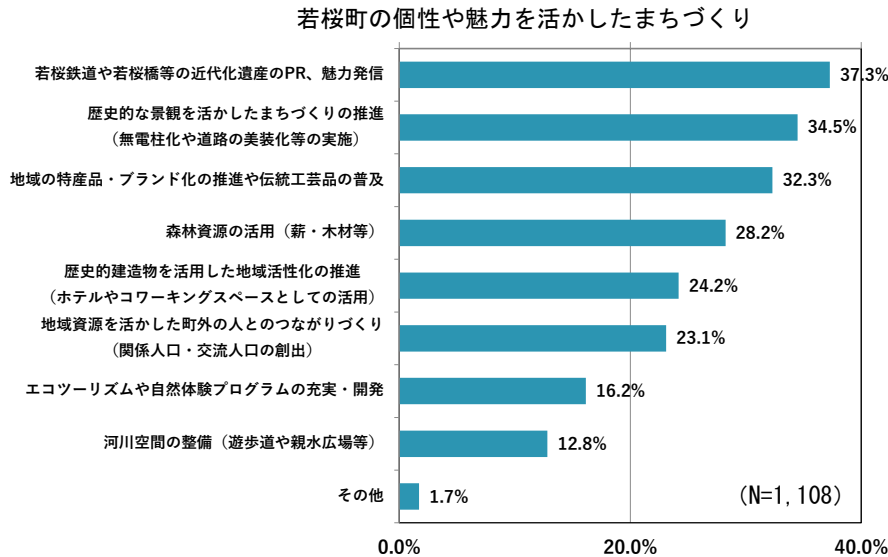
- ・「氷ノ山」が54.6%と最も多く、次いで「不動院岩屋堂」が36.0%、「若桜鉄道の駅舎・車両」25.0%が続きます。



若桜町の個性や魅力を活かしたまちづくり

Q. 若桜町の地域資源をまちづくりへ活かすために必要だと思う取組は何ですか。（最大3つ選択）

- ・「若桜鉄道や若桜橋等の近代化遺産のPR、魅力発信」が37.3%と最も多く、次いで「歴史的な景観を活かしたまちづくりの推進（無電柱化や道路の美装化等の実施）」が34.5%、「地域の特産品・ブランド化の推進や伝統工芸品の普及」が32.3%と続きます。



（年代別の傾向）

- ・10代～20代では、「歴史的な景観を活かしたまちづくりの推進」が5割以上を占め、若い世代ほど「歴史的建造物を活用した地域活性化の推進」が重視される傾向にあります。

若桜町の将来のまちづくりに対する自由意見

Q. 若桜町の将来のまちづくりについて、ご意見があればご記入ください。（自由記述）

- ・若桜町の将来のまちづくりについて、**207件の意見**を頂きました。意見の内容に基づき、以下の分類で整理したところ、「**環境・景観**」に関する意見が97件と最も多く、「**観光・交流**」が51件、「**人口減少・移住定住**」が50件となります。

自由意見分類別の件数

分類	件数
環境・景観	97
観光交流・PR	51
人口減少・移住定住	50
産業・雇用	37
行政運営	37
生活利便施設	36
道路・歩行環境	24
子育て・教育	23
安全・安心（積雪含む）	21
医療・福祉	20
空き家・土地利用	20
公共交通	19
地域コミュニティ	13
デジタル・通信環境	6
その他	10

～自由意見抜粋～

コンビニがほしい（支払い・防災拠点）

小児科を開院できるようにしてほしい

歩道の整備、国道・県道沿いの土地の活用

公共交通機関の維持や新たな交通手段の確保

“若者と高齢者”や“地元民と移住者”等様々な人との交流の機会がほしい

重伝建地区の建造物をもっと公開してほしい

景観づくりにとことんこだわった方がよい

高齢者が安心して暮らせる町にほしい

若者が住みたいと思うような環境づくり